

平成28年7月5日

各 位

**長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会  
に関する「事務連絡」****1. 質問事項の提出について**

ご質問等がある場合は、回答を作成する必要がありますので、大変申し訳ございませんが、7月11日(月)17時までに、下記「質問事項等」に記入のうえ、メール又はFAXにてご送付いただきますようお願いいたします。  
(もし、遅れる場合はご一報願います。)

【メール】 bsl-4@tm.nagasaki-u.ac.jp 【FAX】 819-2040

○質問事項等 (別紙でも結構です)

氏名 ( 神田 京子 )

第2回地域連絡協議会で、坂本キャンパス以外の建設候補地を検討していないのかをお尋ねした際に、調議長より次回(3回)に詳細な資料を準備するとの回答をいただきました。

第3回の資料5で長崎市の過去3年間の降水量、防災情報マップ、都市基盤等々について、詳しいデータをご準備いただいておりますが、下名の質問の主旨は坂本キャンパス以外の土地を検討したことがあるのであれば、具体的に地名(例えば ○○市○○町の土地というような)をご回答いただきたかったのです。

資料を拝見すると、地形、天候、防災等を考えると坂本キャンパスしか対象がなかったということの理由付けのように思いました。

住宅密集地以外の場所を検討したことがなかったのであれば、住民とのコミュニケーションを大切にして理解を求めるといいながら、建設が始まったとたんに永遠に負わされるであろう住民の不安や恐怖等、心身共に突き付けられる問題については、全く気にしておらず、説明を数多く行うことによって、安全な施設だからと住民からの理解を得ることが

出来たとして、建設に向かって前進していくつもりだったのではということが分かります。

これは、第2回に小林企画官が言われた住民の理解が大前提であるとのコメントである国の考えにも違反していることではありませんか。

是非、次回の協議会において、住民の知りたい疑問にお答え願います。

平成28年7月11日

**【担当】**

〒852-8521 長崎市文教町1番14号  
長崎大学 BSL-4 施設設置検討準備室 土屋  
電話:0120-095-819(直通)